

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 6

令和元年6月25日

文責 渡辺富美夫



子どものため、町の教育振興のため

第1回運営協議会開催



教育センターの進むべき方向を探るため、6月6日（木）に17名の運営協議会委員委嘱状交付式及び第1回運営協議会が行われました。運営協議会委員長に町校長会長の船津小学校長渡辺信先生、副委員長に町P連会長の船津小学校PTA会長舟津宏昭さんが承認されました。



教育長より、「教育センターは4つの事業を行なっている。子どもたちのため、町の教育をよりよくするためにはどの事業も必要である。その1つである教育相談においてセンターは、学校に行けない子にとって居場所となり、進路の不安に寄り添うなど進むべき方向を導いてくれるところとして、大きな役割を担っている。様々な課題に真摯に対応し、町内11校が密接に連携していくことが大切であり、教育センターの役割はますます大きくなっている。運営協議会の皆様を中心に、センター事業がより推進されることを願っている。」などのお話がありました。

議事の中では、所長より教育センターの概要説明があり、話し合いがなされました

成果等

「相談室は心も体も休めるほっとする場所となっている。家から外に出ることは大切なのでよりどころとなる場所があってありがたい。」「担任等が相談室に来て指導もしている。このような連携ができていて良い。」「体験プログラムは木工教室や昨年度から始まった新倉体験学習プログラム等と充実し、学校だけではできない学習であり、子どもたちからも好評である。」「英語科の先行実施に伴い、英語支援教員が配置されている。楽しみな授業となっている。」

課題等

「子どもたちのケアがますます必要になってくる。関係機関・学校・他市町村等の連携もさらに進めていくことが大切である。」「0歳からの親子を子育て支援していると入学にあたり相談したいことが出てくる。入学前の支援が入学後につなげていけるよう教育センター等とさらに連携を進めていきたい。」「町広報誌に教育相談の案内が掲載されているが、教育センターの存在、活動内容を知らない人もいる。今後さらにPRとその工夫が必要である。」

多くの意見が出され、有意義な会となりました。特別研究員や多くのボランティア・連携機関にも知恵をいただきながら検討し、目標・実行・評価・改善のPDCAサイクルに基づき、適切な評価と改善を図り、真に子ども達のためになる教育センターを目指して、努めていきたいと考えています。



町単・組合単・期採・代替職員研修会 全3回終了

5月10日・17日・5月31日の計3回、研修会を行いました。学校では、日々の授業はもちろん、多くの行事のため、自己研修の時間や情報収集・交換など、十分とれないのが現状です。終了後のアンケートに「今後の教育現場において、注意し活用していけるようなものであったため、今後の教育活動にも活かしていきたいと思いました。」「私以外にもたくさんの先生方も同じ状況で頑張っているのだと感じました。また、様々な先生方から現場での対応などを学ぶことのできたとても良い機会でした。」「教師になるに向けて自分自身の考えを深めることができました。もう一度教えてくださったことを振り返りながら自身と向かい合い、自分の考えをしっかりと持っていきたいと思います。」「教師としてどんな考えで仕事をしていくか、改めて考えることができました。」などの感想が寄せられました。研修会は、山梨県の目指す「主体的に学び続ける教師」を育てる一助です。